

事業所名

多機能型事業所スマイスレソソサポート田尻Ⅲ

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026年

3月

13日

法人（事業所）理念		感動・運動・夢かなえる オンリーワンのナンバーワン						
支援方針		○「遊び」を通して「学び」を得る：子ども達の年齢や発達段階に応じた「遊び」を提供し行う中で、ルールやマナーの習得、言葉や日常生活動作の向上を目指す ○安心・信頼を感じる「居場所」づくり：子ども達自身が「安心・安全」であると感じて過ごすことができる場所と空間を提供する						
営業時間		9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	日々の検温・視診により健康状態の把握を行う 一日の流れを視覚的に提示し、また一つひとつの活動の「始まり」と「終わり」を明確にすることで、行動の見通しと切り替えを援助する 約束事・ルールの説明などは、本人の特性に応じたわかりやすさ（個別の声かけ・実演する・文字にする等）を把握し、適切な形で行う						
	運動・感覚	トランポリン・滑り台・サーキット・体操（ダンス）等の室内運動及び戸外散歩・コートでの活動を通じて基本的な動作の向上・ボディイメージの獲得を図る 手先操作課題を行い、手指動作の円滑性及び巧緻性の向上を目指す また、様々な感触（ザラザラ・ツルツル・ベタベタ・凸凹等）の経験を通して、感覚の受け入れ幅の拡大を図る 本人の苦手・不得意の把握に努め、個々の特性に応じた活動を提供する						
	認知・行動	個別あるいは（小）集団でのSST（ソーシャルスキルトレーニング）の提供 ビジョントレーニングを行い「インプット→情報処理→アウトプット」の眼・脳・体の協調性を高め、認知・行動スキルの向上に繋げる 本人の認知の特性の把握に努め、適切な支援の方法を探る						
	言語 コミュニケーション	フラッシュカードや絵本の読み聞かせ、やりとり遊びなどを通じて、語彙の獲得や発声に繋げる 本人の発語・発言に丁寧に耳を傾け応答すること、また、気持ちを代弁し理解を示すこと等を通じて、「伝わった」喜びの経験を重ね、コミュニケーション意欲に繋げる 本人の興味・関心のある遊びや活動を通じてコミュニケーションを図る機会をつくる						
	人間関係 社会性	一人ひとりの利用児の生活年齢・発達段階に応じた適切な関わりをすることで、愛着・信頼関係の形成を図る 個別/小集団、同年齢/異年齢など様々な環境設定を行い、対人コミュニケーションや交流を図る経験を提供する SSTの提供・日常でのやりとりを通じて、社会性及び社会で必要なルール・マナー、適切なコミュニケーションについて伝えていく						
家族支援		本人の発達状況等の相談に乗り、疑問点や悩み事に対して助言する 保護者・きょうだい等、本人を取り巻く家族が抱える悩みについても相談に乗り、解決のサポートを図る			移行支援		進学・進級に伴う支援 家庭・所属園（学校）・事業所のスムーズな利用のための支援	
地域支援・地域連携		幼稚園・保育園・小学校・中学校との連携 行政・相談支援事業所との連携			職員の質の向上		職場内研修（全職員／定期） 職場外研修（新人・児童発達支援管理責任者・その他職員／定期・不定期）	
主な行事等		夏祭り 学級日及び長期休暇時の課外活動 季節のイベント 修了式 等						